

会報

庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2013~2014年度

- 例会 会/火 曜 日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/石原 肇 ●幹事/福歳年行

道の駅たかの〈高野町〉

2013年10月22日例会記録

14号(909)

■2013年11月5日のプログラム

R 財団委員会担当

■次のプログラム

健康サポート委員会担当

■ゲスト紹介

中国新聞三次支局 支局長 田中紀昭様

■ビジター紹介

三次中央RC 中西佳代子会員(室内装飾業)

会長の時間

石原会長



皆さんこんにちは。先ず最初に本日のゲストの紹介をさせていただきます。中国新聞三次支局長田中紀昭様です。田中支局長さんは三次RCの会員さんでもあります。今日は卓話を宜しく願いいたします。次にビジターの紹介をさせていただきます。三次中央RCの中西佳代子会員です。どうぞごゆっくりして下さい。

さて、一日ごとに秋の色が濃くなってきます。寒さに向かう時節柄、風邪などひかないように気をつけましょう。

広島東洋カープがCSで、巨人と戦いましたが、完敗で非常に残念です。

今日のプログラムは広報委員会担当で、中国新聞三次支局長田中様より「地域と新聞について」卓話をしていただけるということです。田中支局長様宜しく願いいたします。

先日、ロータリーの友10月号に目を通していたら、10月は職業奉仕月間ということで、ロン・D・バートン会長の職業奉仕を考えるとのメッセージに、職業奉仕の考え方というのは、私たちの仕事は社会に奉仕する一つの手段だと言うことです。顧客へのサービスであろうと、学生の指導であろうと、患者の治療であろうと、私たちは能力と高潔さをもって行う自らの仕事に誇りを持っています。それぞれの職業がニーズを満たし、自分たちの務めを遂行することで私たちは地域や社会に貢献しています。という内容でした。私自身も自分の職業に誇りを持ち社会貢献をしていこうと思います。

以上で会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

回＝タリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013～2014年度RI会長

ロンド・バートン

幹事報告

1. 本日の配布物・・・①会報No.13号 ②米山記念事業豆辞典
2. 地区事務局より、表彰一覧及び申請書式等のお知らせ

出席報告

会員数 35名 出席者 26名 MU 2名
欠席者 6名 出席率 82.35%

スマイル報告

前田Pガバナー・・・10月15日卓話のお礼を頂き有難うございました。
お礼は社会奉仕委員会の中尾委員長を通じて庄原RCにスマイルさせていただきます。

田中紀昭会員・・・今日はお招き頂きありがとうございます。つたない話かもしれませんが宜しくお願いいたします。

中西佳代子会員（三次中央RC）・・・本日は宜しくお願いします。

市川会員・・・山内里山の夢のお米をインターネット販売開始しました。
宜しくお願いします。

伊藤慎二会員・・・子どもミュージカルに行ってきました。娘たちが大変感動していました。

■親睦委員会

中尾委員長

11月17日（日）に予定しております親睦行事、県民の森レストランにてフランス料理食事会の締め切りを本日とさせていただきますので、多数ご参加の程宜しくお願いいたします。

■社会奉仕委員会

中原委員長

フラワー通り花壇横の空き地にマメツゲを植えましたので報告いたします。

■プログラム

ゲスト卓話

広報委員会担当



「地域と新聞」

■中国新聞三次支局長 田中紀昭様

今日はお招き頂きありがとうございます。又、日頃から中国新聞をご愛顧頂き有難うございます。
私は1987年から1990年までの3年間、三次支局に勤務していました。昭和から平成に移り変わり、バブル景気まっただ中の時代でした。1988年、「古里チャンネル」という地域で頑張っている人を紹介するコーナーで、田中五郎さんを取り上げさせていただきました。

ことしの春、23年ぶりに三次支局勤務となりました。10月上旬にある集まりで田中さんと同席する機会がありました。「25年も前の話。覚えていないだろう」と思いながらも話し掛けてみました。すると、「よく覚えているよ」という返事が返ってきました。今でも覚えてもらっていただいていることをありがたく感じました。今ここでお話ししているのも、何かのご縁ということだと思います。

県北に2度目の赴任となり、あらためて感じるのは広島都市部と比べて、新聞に取り上げられる機会は多く、読者との距離が近いということです。記事の反響もすぐにあります。先日の集いでも、みなさん紙面の隅々までよく目を通しておられて、お褒めの言葉とともに記事への注文もいただきました。また、「自分のことが載った中国新聞の記事は、一生の宝もんよ」とおっしゃる女性もおられました。社交辞令が含まれているにしても、うれしい言葉ではあります。いいこと悪いことに限らず、記事を書くことによって、地域の人に少しでもためになればと思います。

庄原に目を向けますと、中国横断自動車道尾道松江線の松江自動車道は開通から半年あまりたち、沿線にできた道の駅や国営備北丘陵公園はにぎわっていますが、効果も市内全域には及んでいないと思います。また、一番の課題は、市が本年度中にも中止か継承かの判断を示す意向を示している木質バイオマス整備事業問題であろうと思います。こういった地域住民の関心の高いニュースを、節目をとらえて読者にわかりやすく伝えていければと思います。